

広報・教育部門

応募事例名

「杜の都れんが下水道」の一般公開

応募団体名)仙台市

応募事例の概要

- 築117年、戦災や震災にも耐え、現在も供用中の煉瓦造りの下水道管を、平成28年11月から見学施設として一般公開中。
- 一般公開している馬蹄形煉瓦下水道は、他の2つの煉瓦下水道（矩形、卵形）とともに、平成22年度に土木学会選奨土木遺産に認定。
- 平成22年に公開された、仙台市在住の作家・伊坂幸太郎氏原作の映画「ゴールデンスランバー」のロケ地として人気を博し、見学希望が多かった施設を一般市民が見学できるように整備。
- 職員がチームを編成して定期的に見学会を実施し、見学者数は、平成29年5月末までに400名超。
- 地上部には、常時下水道管の開口部を見下ろすことができる「のぞき窓」を設け、夜間でも見られるように手回し発電機を設置。



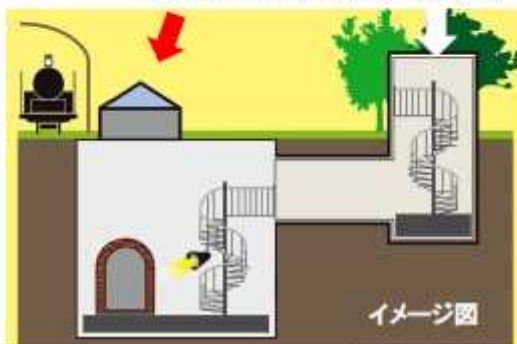
広瀬川吐口



「のぞき窓」(左)と地上部入口(右)



開口部



イメージ図

れんが下水道の
動画サイト



PRポイント

- 明治時代に築造され、今でも使用し続けている土木遺産という歴史的価値を有する地域資源を見学できる稀少性
- 仙台市在住の作家原作の映画ロケ地という施設本体の知名度を活用した幅広い層へのアピールヘッドライト付のヘルメットを被って下水道に入るという、非日常的な探検気分を味わえるエンターテインメント性などにより、地域の歴史や資源を通じて、地下インフラ施設や下水道への興味や関心を引き起こす契機となる施設であると考えます。今後は、近隣小学校など子供達への働きかけや、観光資源の一つとしての活用など、新たな方向性も加えながら展開していきます。